

平成 18 年 1 月 16 日

報道関係各位

財団法人サンスター歯科保健振興財団

世界から歯科と医科の研究の第一人者を招いて
歯周病と糖尿病、そして全身疾患との関係を考える 2 日間
『口腔保健から全身の調和を目指して』
イベント開催のお知らせ

- ①講演会およびコンサート **2月2日(木)開催**
第1部 講演会「糖尿病と口腔保健」
第2部 コンサート「華麗なるオペラ・アリアのゆうべ」
- ②公開シンポジウムおよびトークショー&ディナー **2月4日(土)開催**
第1部 公開シンポジウム「お口とカラダの不思議な関係」
第2部 トークショー&ディナー

財団法人サンスター歯科保健振興財団（大阪府高槻市、金田博夫理事長）は、口腔保健を通して人々の健康増進と生活文化の向上に貢献することを目的に、講演会とコンサート、公開シンポジウムとトークショー&ディナーを組み合わせた今までにない全く新しい形式のイベント『口腔保健から全身の調和を目指して』を本年2月2日(木)、4日(土)の2日間、開催します。

1日目は第1部「講演会」、第2部「コンサート」で構成します。講演会は主に医師や歯科医師、薬剤師などの医療関係者を対象に、「糖尿病と口腔保健」に関する最新の臨床報告をこの領域で世界の第一人者である医師・研究者を招いて講演していただきます。講演会終了後、会場をザ・シンフォニーホールに移して音楽による全身の調和を目指したコンサート「華麗なるオペラ・アリアのゆうべ」をお楽しみいただきます。音楽監督とナビゲーターに三枝成彰。世界を代表する指揮者、岩城宏之の下、オペラの初心者にも聴きやすい「オペラ・アリア」を当代きってのソリストたち、中丸三千繪、塩田美奈子、鈴木慶江、飯田みち代（以上ソプラノ）、片桐仁美（アルト）が美声を響かせます。

2日目は糖尿病患者と一般生活者、行政・医療関係者の保健担当を対象に、第1部「公開シンポジウム」、第2部「トークショー&ディナー」を開催します。公開シンポジウムは「お口とカラダの不思議な関係」と題して、国内外の医療関係者や行政の保健関係者をシンポジストにお願いし、全身の健康状態が口腔の健康に関与していることや、口腔の健康状態が全身の健康に及ぼす影響などを分かりやすく紹介します。また、第2部のトークショー&ディナーでは、食と健康について楽しく学べるトークショーを行い、その後、リーガロイヤルホテル料理特別顧問の宮川栄治シェフとサンスター健康道場とで共同開発した糖尿病患者の方にも気にせずに食べられる低カロリー(600kcal)のフランス料理ディナーを楽しんでいただきます。

イベントの背景

国民の健康寿命を脅かす要因として、糖尿病、心筋梗塞、脳梗塞あるいはがんなどを中心とした生活習慣病が重視されています。財団法人サンスター歯科保健振興財団は、生活習慣病を克服するためには生活習慣にかかわるあらゆる要因を究めなければならないと考えています。

さて、平成14年に成立した健康増進法に関する冊子“健康日本21”で歯周病が『健康を脅かす危険な状態あるいは危険因子』として位置づけられたことで、国内においても歯科医療は「歯の健康」だけに焦点を合わせるのではなく、健康寿命を延ばすための医療として捉えられはじめました。このことから、歯科と医科のいずれの分野においても、医療概念にとらわれることなく『全身の健康』にも貢献しようとの機運が高まっています。

最近では主にアメリカの疫学研究により、歯周病の慢性炎症が糖尿病、心臓血管病、低体重児出産・早産、呼吸器疾患などの発症・進行におもわしくない影響を及ぼすことが示され、世界的にはそれを意識した医療あるいは歯科医療が展開されています。しかしながら、日本ではこのような捉え方が必ずしもうまく普及していません。このことは、世界的な先端医療の見地からも指摘されています。

今回開催する『口腔保健から全身の調和を目指して』は、「全身の健康状態が口腔の健康に関与していること、口腔の健康状態が全身の健康に及ぼす影響」などを、医療関係者のもとより一般生活者にも考えていただき、体験していただく機会として企画しました。

今回のイベントの特長でもある講演会、公開シンポジウムと共に開催のコンサートやディナーは、音楽や食事が人をストレスから解放し、自然の癒し効果によって健康増進にプラスとなることを改めて感じていただくことを目的に開催します。

【主催】 財団法人サンスター歯科保健振興財団

【後援】 大阪府、社団法人大阪府医師会、社団法人大阪府歯科医師会、社団法人大阪府薬剤師会、健康日本21推進フォーラム、財団法人8020推進財団、社団法人日本糖尿病協会（※URL: www.jace.or.jp）、NPO法人SCCRE（エスキュール）マウスアンドボディ研究会、朝日放送株式会社

【協賛】 サンスター株式会社

サンスター株式会社は、毎日楽しく食卓を囲むために欠かせないお口の健康が、からだ全体の健康とも深いかわりを持つ「マウス アンド ボディ」をテーマに、世界中の人々のオーラルケアから始まる健康で豊かな生活づくりに貢献することを目指しています。

①講演会およびコンサート

【開催日】 平成18年2月2日(木)

第1部 講演会

【名称】『糖尿病と口腔保健』

【開催時間】13:30～17:30

【会場】リーガロイヤルホテル(大阪市北区中之島5-3-68 TEL.06-6448-1121)

【プログラム】講演:清野 裕(関西電力病院院長・京都大学名誉教授)

講演:George L. King(ハーバード大学医学部教授、
ジョスリン糖尿病センター研究所長)

講演:柏木厚典(滋賀医科大学内科学講座教授)

講演:村山洋二(岡山大学名誉教授)

講演:Sebastian G. Ciancio(ニューヨーク州立大学歯科医科学教授)

司会:道上洋三(朝日放送アナウンサー)

【対象者】医師、歯科医師、薬剤師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士など約500人

第2部 コンサート

【名称】『華麗なるオペラ・アリアのゆうべ』

【開催時間】開演 19:00(開場 18:00)

【会場】ザ・シンフォニーホール(大阪市北区大淀南2-3-3)

【出演】音楽監督・お話……三枝成彰

指揮……岩城宏之

管弦楽……大阪センチュリー交響楽団

ソプラノ……中丸三千繪、塩田美奈子、鈴木慶江、飯田みち代

アルト……片桐仁美

【曲目】1. モーツァルト作曲 - 歌劇〈フィガロの結婚〉 - 序曲

2. カタラーニ作曲 - 歌劇〈ラ・ワリー〉より - 「ああ わがふるさと」

3. 三枝成彰作曲 - 歌劇〈忠臣蔵〉より - お艶のアリア

4. プッチーニ作曲 - 歌劇〈蝶々夫人〉より - 「ある晴れた日に」

5. ヴェルディ作曲 - 歌劇〈椿姫〉より

- 「ああ そはかの人か〜花から花へ」

6. ビゼー作曲 - 歌劇〈カルメン〉より - ハバネラ「恋は野の鳥」

都合により曲目が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

【入場料】3,000円 ※財団法人サンスター歯科保健振興財団の費用負担で実現された特別価格です

【チケット販売】電子チケットぴあ 0570-02-9999 / 0570-02-9966(Pコード:218-544)

/ 0570-02-9990(オペレーター対応)

ABCチケットセンター(ザ・シンフォニーホール内) 06-6453-6000

【対象者】上記講演会参加者および一般のチケット購入者

②公開シンポジウムおよびトークショー&ディナー

【開催日】平成18年2月4日(土)

【会場】リーガロイヤルホテル(大阪市北区中之島5-3-68 TEL.06-6448-1121)

【対象者】糖尿病患者とその家族、一般生活者、行政・医療関係の保健担当者など約500人
※一般生活者約50人を公募でご招待します。下記要領でお申し込みください。

【応募方法】はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記して、下記宛先へお送りください。

※当該個人情報は財団法人サンスター歯科保健振興財団が責任をもって管理し、「口腔保健から全身の調和を目指して」公開シンポジウム/トークショー&ディナーご招待券送付のためにのみ使用します。

【応募宛先】〒550-8790 大阪西郵便局 私書箱181号
「口腔保健から全身の調和を目指して」イベント事務局
シンポジウム&ディナー宛

【応募締め切り】平成18年1月24日(当日必着)
※抽選の上、当選者には電話連絡後、ご招待券をお送りいたします。

【一般お問い合わせ】財団法人サンスター歯科保健振興財団
「口腔保健から全身の調和を目指して」事務局
TEL.06-6445-9235(10:00~18:00) ※土・日・祝を除く平日

第1部 公開シンポジウム

～ショートレクチャーとパネルディスカッション～

【名称】『お口とカラダの不思議な関係』

【開催時間】14:00~17:00

【プログラム】シンポジスト:

Poul Erik Petersen (WHO オーラルヘルスディビジョン主任)
※WHO 世界保健機構: www.who.int/en/

George L. King (ハーバード大学医学部教授、ジョスリン糖尿病センター
研究所長)

Jill Rethman (米国歯周病学会歯科衛生士教育委員会委員、歯科衛生士)

井下英二 (滋賀県大津健康福祉センター健康福祉推進課長、滋賀県健康福祉
部参事)

モジュレーター: 村山洋二 (岡山大学名誉教授)

司会: 三代澤康司(朝日放送アナウンサー)

第2部 トークショー&ディナー

【開催時間】18:00~20:30

【プログラム】トークショー : 三代澤康司

ディナー : 低カロリーフランス料理

リーガロイヤルホテル料理特別顧問の宮川栄治シェフとサンスター健康道場とで共同開発したレシピによる低カロリー(600kcal)のフランス料理ディナーを提供します。糖尿病患者の方にもカロリーを気にせず召し上がっていただけます。

講演会／シンポジウム講師紹介

^{せい}の^{ゆたか}
清野 裕（関西電力病院院長・京都大学名誉教授）

京都大学医学部卒。1977～79年、ワシントン大学（シアトル）代謝内分泌科（Prof. Daniel Porte Jr.）客員研究員、1996年京都大学大学院医学研究科糖尿病・栄養内科学教授。2001年京都大学医学部付属病院副院長、2004年から関西電力病院院長、京都大学名誉教授。日本糖尿病学会常務理事、日本糖尿病協会理事長、日本病態栄養学会理事長、糖尿病対策推進会議副会長ほか多くの役職を務める。

George L. King（ハーバード大学医学部教授、ジョスリン糖尿病センター研究所長）

米国ジョーンズ・ホプキンス大学卒業。1981年ハーバード大学医学部内科学講師、1982年同助教授、1988年同準教授、1997年から同教授。血管系糖尿病合併症、インスリンおよびIGF作用機序、インスリン抵抗性メカニズムほか糖尿病に関する研究多数。1999年から糖尿病実験研究雑誌編集委員会、2001年から生化学学会誌編集委員会でも活躍。また、2002年からはジョスリン糖尿病センター研究所長も務める。

^{かしわぎ} ^{あつり}
柏木 厚典（滋賀医科大学内科学講座教授）

大阪大学医学部卒。1979年大阪大学医学部第一内科助手、1981年から米国 NIH フェニックス臨床研究所研究員としてピマインディアンの糖尿病発症機構に関する臨床研究に従事。1988年滋賀医科大学第三内科講師、1995年同助教授。2001年から同大学内科学講座教授（内分泌代謝学）。糖尿病における動脈硬化症の臨床、インスリン抵抗性の分子機構とその臨床的意義を研究。また、日本内科学会理事、日本糖尿病学会評議員、日本動脈硬化学会理事ほか多くの役職も務める。

^{むらやま} ^{ようじ}
村山 洋二（岡山大学名誉教授）

大阪大学歯学部卒。1966年大阪大学歯学部付属病院口腔治療科助手、73年同講師、1976年ニューヨーク州立大バッファロー校助教授 口腔生物科。1981年大阪大学歯学部口腔治療科 助教授。1893年岡山大学歯学部歯科保存学第2講座教授。1994年から98年、同学部付属病院院長。2001年、岡山大学大学院歯学総合研究科教授。2002年同大学名誉教授。IADR Distinguished Scientist Award（歯周病基礎研究部門）、日本歯周病学会学会賞、日本歯科保存学会学会賞、中国新聞中国文化賞など受賞多数。

Sebastian G. Ciancio（ニューヨーク州立大学歯科医科学教授）

ニューヨーク州立大学歯学部卒。同時期に生理学講座および薬理学、歯周病学の国立研究所客員研究員。歯周病治療に併用する科学薬剤の役割、歯磨剤や洗口剤などに配合の科学薬剤および歯ブラシやイリゲータのような口腔衛生用具の研究などを領域とする。現職はニューヨーク州立大学バッファロー校歯科医科学部歯周病・歯内学講座主任教授、薬学部臨床教授。退役軍人局メディカルセンター及びエリー校メディカルセンター顧問を務める。

Poul Erik Petersen（WHO オーラルヘルスディビジョン主任）

デンマークや米国、英国でも学んだ後、コペンハーゲン大学の歯学部長ならびに公衆衛生学部の副ダイレクターを歴任。WHO のヨーロッパ地域事務所でコンサルタントとして努め、WHO 協力センターの地域口腔保健研究部の所長を務める。その後2002年ジュネーブ WHO 口腔保健部の主任に任命された。同保健部は「慢性病と健康促進部」の一部であり、口腔保健と全身慢性疾患との連鎖について強調している。

Jill Rethman（米国歯周病学会歯科衛生士教育委員長、歯科衛生士）

米国オハイオ州立大学卒業。米欧の歯科医や歯科衛生士会、歯学部、研究会、協会などへ教育プログラムを通じて、歯周病や老人介護についての医療アドバイスをはじめ、超音波器などの新製品評価などの情報を提供している。また、Journal of Practical Periodontics や Aesthetic Dentistry、Dentistry Today などの歯科雑誌に執筆。1995年から2002年、臨床衛生ジャーナルの編集長を務める。現在、ピッツバーグ大学歯科医学歯科衛生士講座客員臨床指導員。また米国歯科衛生士教育委員を務める。

^{いのした} ^{えいじ}
井下 英二（滋賀県大津健康福祉センター健康福祉推進課長、滋賀県健康福祉部参事）

大阪大学歯学部卒。1993年大阪大学歯学部講師、同年滋賀県健康福祉部健康対策課副参事。歯の健康プロジェクトを作り、各市町村の協力を得て成果を上げ、「歯の健康づくりは体全体の健康づくりと同じ思想である」との考えで「健康滋賀21」プランを作成する。現在、滋賀県大津健康福祉センター健康福祉推進課長ほか、大津・志賀町子ども家庭相談室長、滋賀県健康福祉部健康対策課参事健康づくり・歯科保健担当を兼務。厚生労働省医道審議会専門委員（歯科医師分科会）なども務める。

コンサート出演者紹介

音楽監督・お話：三枝成彰



作曲家。1942年兵庫県生まれ。東京芸術大学大学院修了。代表作にオラトリオ「ヤマトタケル」、オペラ「忠臣蔵」(改訂版)、NHK大河ドラマ「太平記」「花の乱」など、著書に「大作曲家たちの履歴書」などがある。2004年、プッチーニの名作「蝶々夫人」の息子を中心にした新作オペラ「Jr.バタフライ」(台本・島田雅彦)を世界初演、話題を呼んだ(2005年神戸で再演)。同作品は2006年、イタリア・プッチーニ音楽祭での再演も予定されている。

<三枝成彰氏からのメッセージ>

400年の歴史を持つオペラには、じつにさまざまな人たちの人生ドラマが描かれます。ときに悲劇あり、ときに喜劇あり。舞台の幕が開けば、たちまちにオペラは私たちの心を物語の世界にいざなってくれるのです。

今回はサンスター歯科保健振興財団様からよい機会をいただき、「5人の歌姫(ディーバ)華麗なるオペラ・アリアのゆうべ」と題したコンサートを実現することができました。「これぞオペラ」と呼べるアリアの数々を、最高のキャストでお送りします。この公演は、皆様にとって最高の“オペラ体験”となることと存じます。

三枝成彰

指揮：岩城宏之



ベルリン・フィル、ウィーン・フィル等、海外の主要オーケストラを客演指揮し国際的に活躍。石川県文化行政顧問、福井県音楽アドバイザー、作陽学園音楽最高顧問理事、東京芸大客員教授も務めている。96年紫綬褒章受章。現在、NHK交響楽団終身正指揮者、メルボルン交響楽団終身桂冠指揮者、札幌交響楽団終身桂冠指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督、京都市交響楽団首席客演指揮者、東京混声合唱団音楽監督を兼任。石川県立音楽堂芸術総監督も努める。芸術院会員。

ソプラノ：中丸三千繪



1986年、小沢征爾指揮『エレクトラ』のタイトルロールでデビュー。1988年、「ルチアーノ・パヴァロッティ・コンクール」優勝、ヨーロッパデビュー。その後ミラノ・スカラ座と出演契約を結ぶ。1989年『愛の妙薬』でルチアーノ・パヴァロッティと共演し、アメリカ・デビュー。1990年RAI（イタリア国営放送）主催「マリア・カラスコンクール」に優勝し、欧米各国より出演依頼が殺到する。以来、世界各国の歌劇場でドミンゴ、クーラ、マゼールをはじめとする当代一流の音楽家と共演。

ソプラノ：塩田美奈子



1988年、第19回イタリア声楽コンクール第一位、シエナ大賞受賞。劇団四季「オペラ座の怪人」カルロッタ役でデビュー。オペラでは1989年、二期会公演「椿姫」主役ヴィオレッタでデビュー。1991年度アリオン賞、五島記念文化賞オペラ新人賞、ジロー・オペラ賞新人賞受賞。1997年には「ブラハの春」音楽祭に第九のソリストとして招かれ、リサイタルを開催。2004年スペインの第47回「クルソ・インターナショナル・ムジカ・エスパニョーラ」においてディプロマとプレミオを受賞

ソプラノ：鈴木慶江



1998年イタリア声楽コンクール第一位ミラノ大賞受賞によりイタリアのG・ニコリーニ国立音楽院に推薦留学。ミラノにて「フィガロの結婚」伯爵夫人や、イタリア国内のコンサートに出演。2000年には第31回V・ベッリーニ国際声楽コンクール最高位受賞。2002年にはNHK紅白歌合戦に、また2003年NHKニューイヤー・オペラコンサートに出演。世界遺産アッシジの聖フランチェスコ大聖堂にて独唱、献歌。数々のオペラ出演はもとよりソリストとして国内の主要オーケストラとの共演も多い。

ソプラノ：飯田みち代



京都大学教育学部心理学科卒業。大手企業に就職するが、オペラの道へ。1990年日本イタリア声楽コンクール金賞受賞。「ヘンゼルとグレーテル」のグレーテルでオペラデビュー。「椿姫」のヴィオレッタ、「リゴレット」のジルダ、「ランメンモールのルチア」のルチア、「ラ・ボエーム」のミミ、等で出演。また「第九」「メサイア」などのソリストも務め、日本だけでなくイタリア、ドイツ、フランス等においてもコンサートやリサイタルに出演。2005年3月には二期会オペラ「魔笛」で夜の女王役を好演。

アルト：片桐仁美



大阪音楽大学卒業。ウィーン国立音楽大学卒業。「ワルキューレ」のジークルーネ役でウィーン国立歌劇場ソロデビュー。1988年にはパイロイト音楽祭のソリストに抜擢され「ワルキューレ」（バレンボイム指揮）、「パルシファル」（シノーポリ指揮）に出演。1993年にはメトロポリタンオペラ「ラインの黄金」「ジークフリート」（レヴァイン指揮）に出演。1997年からは拠点を日本に移し、N響第九、新国立劇場出演など、国内での活動の場を広げている。現在、大阪音楽大学講師。

【設立】 昭和 52 年(1977) 7 月

【設立目的】

本財団は歯科保健の振興のために、関係公私団体と提携・連絡および協調をはかり、歯科疾患、特に老人および心身障害児の歯科疾患についての予防、治療に関する事業ならびに歯科保健に関する調査・研究および啓発活動を行い、国民の健康の増進と福祉の向上に寄与することを目的に設立しました。

【事業内容】

1. 老人の歯科疾患についての歯科健診・訪問指導および予防相談に関する事業
2. 小児、特に心身障害児の歯科疾患についての予防、早期発見治療に関する事業
3. 医療過疎地への歯科医師の派遣等による歯科衛生普及活動の実施
4. 歯科保健に関する調査・研究の奨励・助成
5. 歯科保健に関する内外研究者の交流の促進
6. 歯科保健に関する図書・パンフレット・ポスター等の刊行、配布
7. 歯科保健に関する学会・学術講習会・母親教室等の開催
8. 歯科保健に関する保健・医療・指導施設の開設
9. その他、本財団の目的達成に必要な事業

【理事長】 金田 博夫〔サンスター株式会社取締役会議長兼代表執行役会長〕

【専務理事】 田中 敏之〔当財団〕

【常務理事】 徳川 文利〔当財団〕

【理事】 鶴巻 克雄〔FDI（国際歯科連盟）元会長、歯学博士〕
石川 烈〔東京医科歯科大学 大学院教授〕
ジャンピエロ・アルハデフ〔SOLIDAR(全ヨーロッパ福祉援助機構)事務総長〕
ロバート・ジェンコ〔ニューヨーク大学バッファロー校副学長〕
ジョン・スタム〔ノースカロライナ大学歯学部殊勲教授〕
柏木 厚典〔滋賀医科大学第三内科教授〕
ジリア・レスマン〔ピッツバーグ大学歯科衛生学部指導員・米国歯周病学会歯科衛生士教育委員〕
ケビン・ラムジイ〔マッキャン・エリクソン社長（日本）〕
金田 真弓〔当財団〕
中西 健一〔当財団〕

【本部所在地】 財団法人サンスター歯科保健振興財団 本部
〒569-1134 大阪府高槻市朝日町 3-1 TEL. 072-682-7298

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

財団法人サンスター歯科保健振興財団 専務理事 田中敏之

TEL. 072-682-7298

FAX. 072-681-0359